

令和３年９月議会（決算等審査）において

検討を約した事項

（令和７年７月末現在）

令和３年９月議会（決算等審査）において検討を約した事項

担当部局
関係部局

1. 知事が検討を約した事項(1項目)

- (1) 万博を契機とした中小企業のビジネスチャンスの拡大

万博推進局

2. 知事が国への要望を約した事項(2項目)

- (1) 万博を契機とした中小企業のビジネスチャンスの拡大
(2) 新型コロナ関連予算と減債基金の復元の先送りについて

万博推進局 他 （終了）
財務部 （終了）

令和3年9月議会（決算等審査）において知事が検討を約した事項

番号	質問項目	検討を約した内容要旨	対応状況（R7.7月末時点）	検討期限（予定）	質問の種類（会派）	担当部局 関係部局
1	万博を契機とした中小企業のビジネスチャンスの拡大	バーチャル空間上の大阪パビリオンは、多数の府民が参加可能で、世界に向けて情報発信できるツールでもあることから、中小企業に活用いただくことも含めて検討を進めていく。	大阪ヘルスケアパビリオンでは、中小企業・スタートアップ向けの展示・出展ゾーンとして「リボーンチャレンジ」を設け、大阪産業局と大阪商工会議所が企画・運営を担っている。このゾーンへの出展参加を希望する中小企業・スタートアップを支援する実施主体を募り、金融機関など14の実施主体からの26件の事業企画を令和4年10月に認定。その後、実施主体ごとに中小企業・スタートアップの募集・選定を順次進め、令和6年10月にすべての出展企業、441社が出揃った。 現在、会期を通じて週替わりで、各企業の展示を展開しているところ。 また、「バーチャル大阪ヘルスケアパビリオン」内にも、府内の中小企業・スタートアップの優れた技術やサービスの情報発信の場としてバーチャル展示会場を開設。商工労働部と連携の上、令和6年6月から令和7年2月まで出展企業等を募集し、全54社を決定。万博開幕に先立つ令和7年1月からは、順次、バーチャル会場内での情報発信を行っている。		総務委員会（自民）	万博推進局